

[普及事項]

新技術名：促成アスパラガスの1年半株養成法におけるセルトレイ、定植時期の検討  
(平成23～25年)

研究機関名 農業試験場 野菜・花き部 野菜担当  
担当者 篠田光江、武田 悟 他3名

[要約] アスパラガスの促成作型において、72または128穴セルトレイで7月中旬までに播種し、8月下旬までに定植することで、1年株並の可販収量を得られる。定植日が早いほど可販収量は多く、太物も多くなるが、茎枯病も多くなる。グリーンタワー、シャワー、バイトルは収量、品質ともにウェルカム並である。

[普及対象範囲]

全県

[ねらい]

従来の1年株養成法とは異なり、夏期に育苗を行い秋期に定植する1年半株養成法は、育苗コストが少なく、定植期における稲作との作業競合が避けられるなど、導入のメリットは大きい。本作型について、本県での適応性が検討されたが、慣行の1年株養成法に比べ、株重、収量で劣っていたため、定植期を早める等の改良が必要であった。そこで、本県に適した育苗方法、定植期および品種を明らかにした。

[技術の内容・特徴]

1. 128穴および72穴セルトレイでは、定植期が早いほど可販収量が高い。8月下旬までに定植することで1年株並の可販収量が確保できる(図1)。
2. 太物本数割合はいずれの育苗容器でも定植期が早いほど高くなる(図2)。
3. 育苗日数は200穴セルトレイで40日、128穴セルトレイで45日、72穴セルトレイで50日である(データ省略)。8月下旬までに定植するためには、遅くとも7月中旬までに播種する必要があるが、高温期の育苗となるため、かん水管理の容易な128穴または72穴セルトレイが適する。
3. 慣行の1年株養成法よりも株養成期間が長く、定植期が早いほど茎枯病にかかりやすくなるため、定植当年の防除は必須である(図3)。
4. グリーンタワー、シャワー、バイトルの収量、品質ともにウェルカム並である。スーパーウェルカムは可販収量はウェルカム並だが、1本重が重く、可販本数は他の4品種より少ない(図4)。

[成果の活用上の留意点]

1. 畝間150cm、株間40cm、栽植本数1,667本/10a、施肥量は、窒素、リン酸、カリが10aあたり1年目でそれぞれ10kg、10kg、10kg、2年目が20kg、20kg、20kgで、1年目のマルチをそのまま翌年も継続使用。施肥は2カ年分を1年目にまとめて施用することも可能。
2. 掘り上げ時期は、1年株と同時期である。
3. 図5に栽培暦を示す。

[具体的なデータ等]

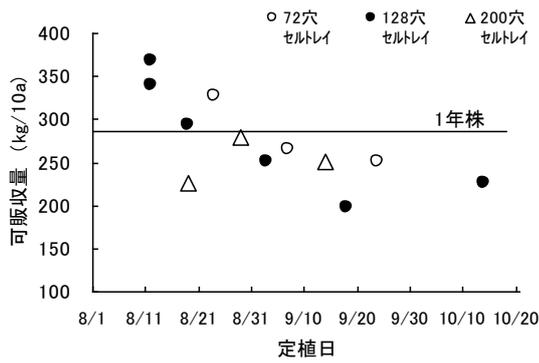


図1 定植日と可販収量の関係  
収穫期間 (2010/12/13~2011/2/28)  
品種: ウェルカム

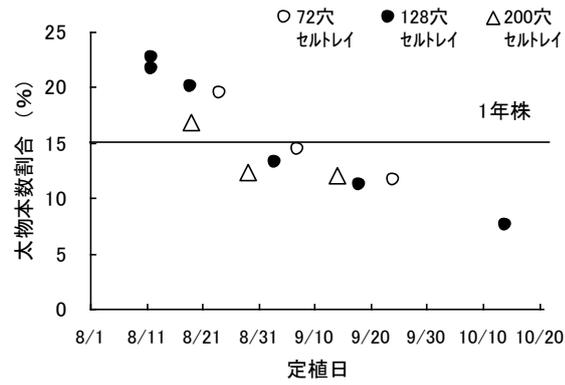


図2 定植日と太物重量割合の関係  
太物: 1本重が20g以上  
収穫期間 (2010/12/13~2010/2/28)  
品種: ウェルカム

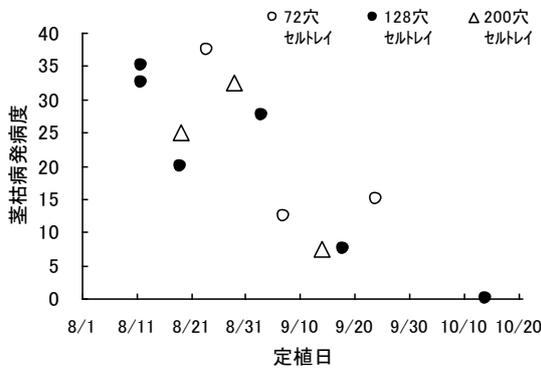


図3 定植日と定植当年の茎枯病発病度<sup>z</sup>の関係

<sup>z</sup>:  $\Sigma$  (指数別発病株数 × 指数) ÷ (調査株数 × 4) × 100、発病指数 (0: 発病なし、1: 茎の一部に病斑発生、2: 茎の数箇所に病斑発生 3: 全身に病斑発生、4: 多数の病斑が連生して枯死)  
品種: ウェルカム、調査日: 9月29日

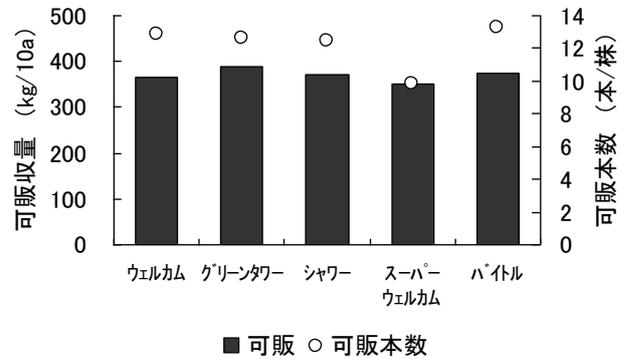
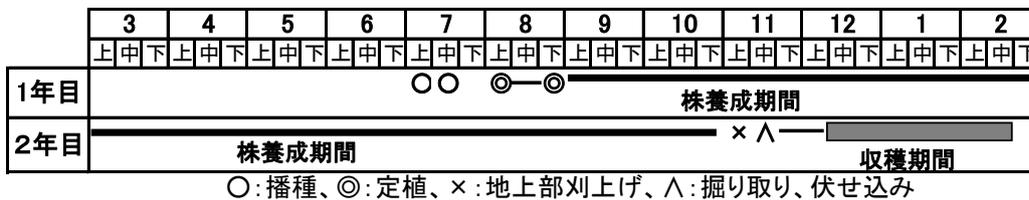


図4 可販収量および可販本数  
128穴セルトレイ育苗、7/20播種、9/1定植  
収穫期間 (2011/12/31~2012/2/28)

図5 1年半株養成法の栽培暦 (秋田県)



[発表論文等] なし